

第三次地域福祉活動計画（概要版）

基本理念

みんなで気づき みんなで築く 地域共生社会



基本方針

地域を支える
人づくり

誰にもやさしい
地域づくり

安心・安全の
まちづくり

支援が必要な人を
支える
仕組みづくり

基本施策

- ①福祉への理解を深める啓発活動の推進
- ②福祉教育の充実
- ③ボランティア意識を高め、地域福祉活動への支援
- ④福祉、保健等の専門的な人材の育成
- ⑤人権意識と差別解消

- ①ともに支え合い、助け合う地域づくり
- ②憩いの場・居場所づくり プラットフォーム
- ③隣保館の活用
- ④健康づくりの推進
- ⑤地区ネットワーク
- ⑥子どもが健やかに育つ地域づくり

- ①特殊詐欺（オレオレ詐欺等）消費者被害対策
- ②防犯体制の充実
- ③災害対策
- ④バリアフリー化
- ⑤認知症の人等へのまちづくり

- ①包括的支援体制の整備
- ②コミュニティソーシャルワークができる体制づくり
- ③日常生活への支援
- ④再犯防止推進計画
- ⑤権利擁護に関する支援体制の整備
- ⑥成年後見制度の利用促進

内容

若い世代の方たちにわかりやすいホームページを作成するとともに、SNSでの発信を行っていくことによって、地域で行われている活動を知るという機会を広げ、地域の活動に興味を持ってもらうような仕掛けをしていきます。

お互いに支え合う関係をつくる「ささえ愛隊」の取組を充実させていき、地区ネットの参画者を増やすことによって、地域での協力者を作っていく。さらに、自身の健康寿命を延ばす取り組みが介護保険抑制につながることから、地域包括支援センターが行う、健康づくりと、ひだまりクラブ（ふれあいいきいきサロン）をつなげていく取組を行います。

各地区ごとに防災及び防犯マップを住民目線で作っていく取組をしていきます。また、社協としても、災害時への対応のための訓練等を実施します。

また、認知症への取組として、地域包括支援センターが行う認知症サポーター養成講座の修了生を組織化し、関係機関と連携ができるようにしていきます。

重層的支援体制整備事業が円滑に行われていくために、香川おもいやりネットワークの参画法人の増を目指します。また、地域課題に対して、対応できていくように、様々な団体や関係機関とのネットワークを形成し、困難ケースに対応できるようにしていきます。